

人生100年時代のシニア人材活用

わが社自慢のシニア人材は60歳からのキャリアを応援

取材執筆 馬場雅子

小さくても元気な企業を目指す「東海地区」シニア派遣のパイオニア

社員平均年齢も、愛知で最高齢の「シニア東海」

愛知県名古屋市の株式会社シニア東海は、シニアに特化した人材派遣会社である。今では定年退職後も再雇用や人材紹介・派遣でシニアが働くことが脚光を浴びているが、十数年前はまだ太陽の目を見ない時代だった。高江洲社長をシニアに特化した人材ビジネスへ導いたのは、東京でシニアの派遣事業を展開する株式会社高齢社のビジネスモデルだった。

高齢者の知識・経験を

活用したい

愛知県名古屋市中区、高齢者の労働者派遣事業を行う株式会社シニア東海。少子高齢化が急速に進む現在、シニアの活躍に大きな期待が寄せられている。シニアに注目し、シニアに特化した派遣事業を始めた経緯について、同社の代表取締役社長高江洲晋氏（以下、高江洲氏）は次のように振り返る。

「13年前、株式会社シニア東海を設立した当初は、定年退職した人が働きたいと思っても、働ける場所や企業が少なく、再雇用制度も完備されていませんでした。当時、たまたまテレビを観ていたら、カンブリア宮殿という番組に、株式会社高齢社の上田会長が出演されていました。上田会長は「人は宝、人は財産」という考え方で、高齢者が働く場を提供する支援事業を展開していました。私の周りにも定年退職したものの、再就職が

できない人がたくさんいました。彼らが今まで培ってきた知識や経験、技術を活かせる場がなく、何とかできないだろうかと考えていた矢先でした。早速、上田会長に面会を申し込み、快く会っていただけになりました。そして高齢社さんのビジネスモデルに感銘を受け、東海地区でシニアに特化し



高江洲晋氏

た人材事業をやろうと決心しました。

派遣はシニアに最適な働き方

シニア東海がシニアに特化した派遣事業にこだわる訳、想いについて高江洲氏は次のように語る。

「当社はシニア世代（定年退職者・再雇用が終了した人）を対象にした派遣事業を行っています。

シニアの方は知識や経験が豊富で、そのキャリアを活かす場が少ないことは社会にとっても大きな損失です。まして最近の人手不足の中では、シニアの力やキャリアが人手不足解消の一助になることは間違いありません。シニア世代にとって派遣は、とてもライフスタイルに合う働き方であると思われれます。就労日数や働く時間など、本人の健康状態や年金併用、さらには家庭の事情な

どを考慮した働き方が可能です。また2015年9月に派遣法が改正され、60歳以上の人は「3年ルール」という縛りからの対象外となり、本人が希望すれば同じ派遣先ですと働くことが可能になりました。ライフスタイルに合わせて、フルタイム・時短勤務など勤務形態が選択できるようになったことで、シニアの派遣登録者数も増え続けています。

周知のように東海地区は自動車産業をはじめとする製造業が盛んな地域です。当社でも愛知県、岐阜県を中心に定年退職者や再雇用終了者のシニアが、主に中小から大手企業の製造業で技術者、技能者として働いています。キャリアがある先輩として、若手社員に自分の持っている知識や技術を伝え、後進につなげていく。そういった技術・技能伝承が行われているのも社会にとっては有益なことだと思っています」。

「働くから元気」なシニアをこれからも応援

早くからシニアに特化した派遣事業を展開する同社。最後に、シニアを対象とした派遣事業のすそ

野が拡大する中、今後はどのように事業展開を図るのかについても聞いてみた。

「当社は、元気だから働くのではなく、働くから元気をキャッチフレーズに事業を行っています。社員の平均年齢は67・8歳、最高齢は79歳です。愛知県で平均年齢が一番高い会社だと思います。シニアの方たちが元気でストレスなく働くことができる環境を整えること、希望や要望にマッチした派遣先を提供することが、我々の役割ですが、そのためには常にコミュニケーションを取って、悩みや問題などを早く解決するように心がけています。入社前にはリーフレットを配布し、派遣についての心構えやシニアとしての働き方、お客様の情報などをしっかり伝えます。シニアの皆さんは、経験や技術がしっかりあり、実直でまじめに働かれるので、お客様からも歓迎されています。当社は大きな組織ではありませんが、小さくても元気な企業を目指して、働くシニア世代や社会に貢献していきたいと考えています」。

次号では、同社で働く、79歳の「わが社自慢の社員」を取材リポートする。



「シニアの方は実直でまじめに働かれるので、お客様からも歓迎されています」

人生100年時代のシニア人材活用

わが社自慢のシニア人材は60歳からのキャリアを応援

取材執筆 馬場雅子

「派遣先、派遣会社にとって、シニア人材は貴重で有益な働き手と自負しています」

前号では、愛知県名古屋市中シニア世代の派遣事業を行う株式会社シニア東海の取り組みを紹介した。今号は、同社で働くシニア人材であり、企画推進室顧問の羽木一彦氏（以下、羽木氏）にスポットを当てたい。

関わるすべての人が Win-Winに

前号でレポートしたように、株式会社シニア東海は平均年齢が67・8歳というシニア集団である。中でも羽木氏は社内でも最高齢の79歳であり、来年には傘寿を迎える。東邦ガス株式会社を60歳で定年退職。東邦ガスのグループ会社の再雇用を経て、65歳で株式会社シニア東海の本社スタッフとして

入社した。

まずは羽木氏に、シニア人材に特化した派遣会社で働くことになった経緯などから聞いてみたい。

「私は、ずっと地元と同じ企業で働いてきました。定年退職後はグループ会社に再雇用となり、5年間働きました。そのグループ会社の社長より、シニア人材に特化した派遣会社があるとの紹介を受けたのをきっかけに、シニア東海に入社しました。私は退職をしても、家庭では粗

大ごみにはなりたくないという想いや、社会とのつながりを持っていたいという気持ちがあったので、健康である限り働き続けたいと考えていました。

入社前の社長面接で、高江洲社長から『派遣社員と家族、派遣先企業、派遣会社など、このビジネスに関わるすべての人たちが、Win-Winの関係になることを目指しています』という話を聞いて納得し、入社を決めました。

現在は、企画推進室顧問・コーディネーターとして週3日の勤務をしています。仕事の内容は、企業ニーズに沿ったシニア人材を派遣する業務で、派遣契約、派遣延長などの職務のほか、派遣先企業や派遣社員の要望を聞いたり、トラブルや苦情処理などの業務を

行っています」。

シニアは派遣会社・企業にとって魅力的

同社の企業理念は「シニアの働き方を支援する」こと。そして、その理念の根底には、人手不足の解消にはシニアの力が必要であり、ひいては社会貢献につながり、シニア自身も働くから元気でいられるという命題がある。自らも「元気だから働くのではなく、働くから元気」を実践するシニア人材の羽木氏に、あえてシニア世代の魅力、強みとは何かを聞いてみた。

「シニアの魅力や強みについては、シニア人材すべての人に当てはまるかは分かりませんが、一般的には、現役時代に培った専門知識や



羽木一彦氏

技能・経験を活かして即戦力としての期待が持てる。働く場所があるということや、社会の一員として、やりがいや生きがいを感じて働くことができる人が多いように思います。働き方によっては、現役時代に比べれば報酬は少なくなりますが、私の場合は、年金を受給しながらお給料をいただき、週3日の勤務で時間的な余裕もで

き、家族に気兼ねなく自分の趣味（釣り・ゴルフ）を楽しむことができます。これはありがたいことです。高江洲社長のご家族と一緒に釣りをしたこともあり、家族ぐるみでお付き合いをさせていただいたり、アウトホームの場所も働きやすい会社だと思っています。

派遣会社にとっては、年齢が高くてこれまで培った専門知識や

技能・経験を持った優秀なシニア人材を雇用できるというメリットがあります。また働き方もフルタイムや時短勤務を希望するシニアがいれば、その方に合わせた勤務日数や勤務時間を考慮した働き方のできる企業を紹介できます。自分の希望や目的に合った選択ができるということも魅力の一つだと考えています。そして企業側から見れば、キャリアが豊富な人材を即戦力として活用できること。また、仕事量に応じた



週3日の勤務で趣味の釣りを満喫する羽木氏

人員の配置ができることなどが魅力なのではないでしょうか」。

後輩に知識やノウハウを伝達

最後に人生100年時代といわれる中で、今後はどのようにキャリアを重ね、人生を築いていくのか。羽木氏は次のように語る。

「現在79歳ですから、人生100年だと、あと20年もあります。さすがに100歳まで継続して勤務することはできないと思いますが、今の仕事を後輩にキッチリ引き継ぐことや、同じシニアの人たちに働く喜びを伝えられたらと思います」。

ています。具体的には、現役時代の地位や年俸の話は少し控えて、謙虚な気持ちで人間関係を重視し、コミュニケーションを円滑に進めることなどですね。そして、後輩たちには、今まで培ってきた専門知識やノウハウをきちんと伝えつつ、時に良き相談相手にもなれたとしたら、素晴らしいことだと思っています。

プライベートでは、前職のOBたちが集まる会の役員をしています。仲間たちとの親交を深めつつ、人生の下り坂をゆっくり下り、様々な景色を眺めながら、これからの人生を歩いていきたいと思っています」。